

報道関係者各位

2021年2月26日
Shopify Japan株式会社

2020年のShopify 成長率を発表

国内GMV（流通総額）は323%の成長率

世界175カ国で170万以上のネットショップが日々運営されているマルチチャネルコマースプラットフォームShopify（ショッピファイ）の日本法人Shopify Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、地域統括マネージングディレクター：ショーン・ブロートン 以下：Shopify）は、2020年におけるグローバルおよび日本市場での成長は過去最高を更新したことを発表します。



【2020年日本市場での成長】

- 流通総額（GMV）は**2019年比323%増**で、成長率は他国に比べても高い
- 国内だけでも**前年比228%増**の新規出店数の伸び率は、他のマーケットの中でも上位
- 注目すべき国内の新規加盟店は以下の通り：
BAKE The Online (<https://bake-the-online.com/>)、益子WEB陶器市 (<https://touiichi.mashiko.online/password>)、オリオンビール (<https://shop.orionbeer.co.jp/>)、タイガー魔法瓶 (<https://www.tigerbottles.com/>)、タンスのゲン本店 (<https://www.tansu-gen.jp/>) など

【2020年グローバルでの成長】

- Shopifyを利用する事業者（マーチャント）は、世界で**1,700,000以上**
- Shopify Plusを利用する事業者（マーチャント）は、世界で**10,000以上**

- 2020年の流通総額(GMV) **約12兆円** (\$120Billion)
- 世界中で**4億5700万人**近くの消費者がShopifyを通して商品を購入（2019年比52%増）
- 新規店舗は2019年はほぼ1分（52秒）ごとに初めての売上を行ったのに対し、2020年には**平均28秒ごと**に初めての売上を上げるまでにスピードが増した
- 完全リモート企業として、世界中に**7,000人以上**の従業員を擁す
- 事業者（マーチャント）によるShopifyでの総売上高 **約30兆円** (\$277Billion)
- アプリストアに**6,000以上**のアプリを掲載
- Shop※1の登録ユーザー数は**1億人**を達成
- 第4四半期の注目すべき新規加盟店は以下の通り：
Dermalogica（国際的なスキンケアブランド）、Yamaha（日本のオートバイブランド）、Herman Miller（英国の国際的な家具会社）、Hallmark（グリーティングカードで有名な英国企業）、Diageo（世界最大級のワイン・スピリッツメーカー）、ALDI（ディスカウント食料品チェーン）、Purina（ネスレの人気ドッグフードブランド）など

Shopifyの地域統括マネージングディレクター ショーン・ブローテンは以下のようにコメントしています。

「2020年は起業家精神が旺盛で、Shopify事業者（マーチャント）の目覚ましい回復力により、多くの事業者（マーチャント）がこの困難な年に立ち向かい適応することに成功しました。日本の起業家や企業は、私たちが事業や生活の基盤として信頼してくださっていると感じています。私たちは2021年も、将来を見据えたコマースソリューションを構築し、次世代に向けて支援を続けてまいります。」

昨年は、楽天のセールスチャネル、Shopify paymentのJCB対応、Shopify POS※2のリリースをはじめ多くのプロダクトアップデートを図りました。

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、デジタルの導入を世界的に加速させ、生活や働き方の変化に拍車をかけています。Shopifyの調査によると、日本の消費者の49%がコロナ禍の昨年9月までの6ヶ月間で、「買い物に混雑する時間を避けた」と答え、46%が「この先6ヶ月も同様に行動するだろう」と回答しています。また、新型コロナウイルスの感染が拡大して以来、日本の消費者の42%が「2020年の年初と比較してオンラインでより頻繁に買い物するようになった」と回答しています。日本の消費者が社会的な活動を抑制する一方で、オンラインでの買い物へと確実にシフトしており、日本でもeコマースの成長を加速させている傾向が伺えます。

そんな中、日本の成長率は他の国に比べても群を抜いており、新規出店数も前年の2倍以上となっています。政府をはじめ、地方自治体などとの取り組みで起業家や実店舗を持っているオフライン事業者のオンライン化、Shopify POSを促進する取り組みなどが功を奏して成長に繋がったと見られます。

2021年は日本国内でご要望が多かった「Shopify Plus」の専属チームの立ち上げを予定しており、事業拡大を図るD2Cブランドやすでに多くの顧客を抱える大手ブランドが必要とするカスタマイズ性にも対応できるような体制が整います。引き続き、プロダクトのアップデートを通じてオフラインとオンラインの融合をすることで事業者（マーチャント）のビジネスの成長に繋がるプラットフォームとなり、Shopifyの日本におけるプレゼンスを強化してまいります。

また、マルチチャネルプラットフォームのグローバルカンパニーとして越境販売のための、多言語・多通貨の特長を活かし、海外と行き来ができない今だからこそ、日本の消費者だけでなく、世界中の消費者に向けて商品を販売するための仕組みを提供してまいります。

※1.Shopとは消費者がShopifyストアで購入した商品の配送状況を確認できたり、お気に入りのShopifyストアをフォローして商品情報のお勧めを受け取ったり、位置情報に基づいてshopifyストアを検索することができるアプリです。(iOS,Androidで提供)

※2. Shopify POSは、実店舗内で販売を行うための販売時点情報管理アプリです。オンラインのShopifyストアと同期させて、お客様のオンライン、モバイル、実店舗内のすべての注文を1か所で管理できます。

<Shopifyについて>

Shopify（ショッピングファイ）は、国内に限らず海外へのオンライン販売も、専門知識がない中で手軽に始められる、クラウド基盤のマルチチャネルコマースプラットフォームです。ウェブ、モバイル、ソーシャルメディア、マーケットプレイス、実店舗などの複数の販売チャネルを持つオンラインストアの作成、カスタマイズ、在庫連携、売上管理を簡単に行うことができます。プラットフォームには、ストアの経営者にとって強力なバックオフィス機能も備えられており、オンライン販売に必要なものすべてはShopifyで一元管理ができる、という手軽さが大きな特徴です。

Shopify は小規模から中小企業、大手企業など、現在まで約175カ国で170 万 以上のオンラインストアをサポートしており、国内ではKINTO(キント),ORION BEER(オリオンビール),STUDIO R330(ステュディオ アール スリーサーティー),sakana bacca(サカナバッカ),Elmers Green(エルマーズグリーン),Tabio(タビオ), 海外ではAllbirds(オールバーズ),Heinz(ハインツ),Staples(ステープルズ),などの大手有名企業から世界的な著名人まで国内外において、多くのブランドより利用されています。

Shopifyはカナダのオタワで設立されましたが、会社の所在地は「Internet, Everywhere」と考えており、Shopifyはインターネット企業であることから、世界中に拠点を持って活動しています。